

認定理学療法士制度

認定理学療法士の取得

申請要件

1. 指定研修カリキュラムの受講
2. 臨床認定カリキュラムの受講
 - 1) 必須科目
 - 2) 選択科目
3. 日本理学療法学会研修大会の参加

申請

認定試験

合格

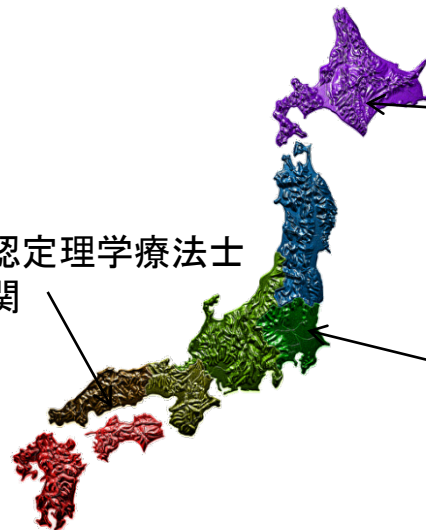
認定証



臨床認定カリキュラム教育機関

- 教育機関を全国から公募
- 医療機関、養成校、士会等が多様な組織が教育機関となる
- 審査にて教育機関と認定する

脳卒中認定理学療法士
教育機関



脳卒中認定理学療法士教育機関

脳卒中認定理学療法士教育機関

「日本理学療法士協会認定理学療法士認定証」を発行

認定理学療法士の認定分野

- ・表記は、〇〇認定理学療法士とする。
- ・旧制度での領域は既存分野とし、現制度でも継続する。※基礎領域のみ廃止(専門理学療法士へ移行)
- ・分野の新規新設および統廃合は順次検討していく。

現行 認定理学療法士 (2022年3月まで)	新制度 認定理学療法士 (2022年4月以降)
認定理学療法士 (ひとを対象とした基礎領域)	基礎理学療法 専門理学療法士 (基礎領域の認定廃止)
認定理学療法士 (動物・培養細胞を対象とした基礎領域)	
認定理学療法士 (脳卒中)	脳卒中認定理学療法士
認定理学療法士 (神経筋障害)	神経筋障害認定理学療法士
認定理学療法士 (脊髄障害)	脊髄障害認定理学療法士
認定理学療法士 (発達障害)	発達障害認定理学療法士
認定理学療法士 (運動器)	運動器認定理学療法士
認定理学療法士 (切断)	切断認定理学療法士
認定理学療法士 (スポーツ理学療法)	スポーツ理学療法認定理学療法士
認定理学療法士 (徒手理学療法)	徒手理学療法認定理学療法士
認定理学療法士 (循環)	循環認定理学療法士
認定理学療法士 (呼吸)	呼吸認定理学療法士
認定理学療法士 (代謝)	代謝認定理学療法士
認定理学療法士 (地域理学療法)	地域理学療法認定理学療法士
認定理学療法士 (健康増進・参加)	健康増進・参加認定理学療法士
認定理学療法士 (介護予防)	介護予防認定理学療法士
認定理学療法士 (補装具)	補装具認定理学療法士
認定理学療法士 (物理療法)	物理療法認定理学療法士
認定理学療法士 (褥瘡・創傷ケア)	褥瘡・創傷ケア認定理学療法士
認定理学療法士 (疼痛管理)	疼痛管理認定理学療法士
認定理学療法士 (臨床教育)	臨床教育認定理学療法士
認定理学療法士 (管理・運営)	管理・運営認定理学療法士
認定理学療法士 (学校教育)	学校教育認定理学療法士

認定理学療法 申請要件の詳細

科目群	コマ数（時間）	研修形式	主催
指定研修カリキュラム	12コマ （18時間）	eラーニング	協会
臨床認定カリキュラム（必須）	15コマ （22.5時間）	オンラインor 対面 （教育機関による）	教育機関
臨床認カリキュラム（選択）	5コマ以上 （7.5時間以上）	オンラインor 対面 （教育機関による）	教育機関
日本理学療法学術研修大会の参加※	みなし8コマ （12時間）	各大会による	協会（都道府県理学療法士会運営）

※大会によって参加と見なされる要件を提示予定

認定理学療法士「指定研修カリキュラム」科目名

科目名	コマ数	科目名	コマ数	科目名	コマ数
医療安全学： 医療倫理	1	チーム医療論 (タスクフォース/シエを含む)	1	臨床推論	1
医療安全学： 医療安全管理	1	相談・指導	1	運動学習	1
医療安全学： 理学療法管理	1	認定理学療法士の役割 - 科学と政策提言 -	1	労務・職場管理	1
医療安全学： 感染管理	1	医療面接	1	足病変予防の 理学療法 (共通編)	1

認定理学療法士「臨床認定カリキュラム・必須」科目名 (例. 脳卒中分野)

科目名	コマ数	科目名	コマ数	科目名	コマ数
正常な構造・機能と疾病の基礎	1	脳卒中後の高次脳機能障害に対する理学療法	1	終末期における理学療法	1
医学的診断と治療介入	1	脳卒中後の活動・参加制限に対する理学療法	1	自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用	1
理学療法介入の意義と理学療法士の役割	1	早期離床と合併症予防のための急性期理学療法	1	発症予防、重症化予防、再発予防	1
疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	1	機能回復と日常生活活動自立に向けた回復期理学療法	1	患者・家族教育の意義とその方法	1
脳卒中後の運動機能障害に対する理学療法	1	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	1	社会資源の活用	1